

約1時間半後の午前11時頃に、当該事件現場付近で当該男性を発見したため、当該男性を強盗傷害の疑いで逮捕した。

(3) タクシー運転者が暴行を受けた事件2

3月29日(木)午前7時10分頃、新潟県において、同県に営業所を置くタクシーが乗客の男性を乗せて目的地に到着後、当該男性が当該タクシーの運転者に暴行し料金を支払わずに逃走した。

この事件により、当該タクシーの運転者が右脇腹軟骨損傷、右足挫傷の軽傷を負った。

事件当時、当該男性は酔って寝ていたため、当該タクシーの運転者が車から降りて当該男性を起こして降ろしたが、その後、当該男性が運転席に乗り込んだことから、当該タクシーの運転者は、当該男性を運転席から降ろし、運賃(2,500円)を請求したところ、当該男性が暴言を吐き、当該タクシー運転者の胸ぐらを掴んで押し倒すなどの暴行を加えた。

その後、当該タクシーの運転者は、当該タクシーが見えない場所に避難し、数分後戻ったところ、当該タクシーの鍵が抜かれた状態で、当該男性は逃走していたが、警察は当該男性を同月29日午後3時35分頃逮捕した。

(4) タクシーが路面電車と衝突した事故

3月30日(金)午前9時40分頃、広島県において、同県に営業所を置くタクシーが乗客1名を乗せて運行中、交差点を左折しようとしたところ、当該タクシーから見て左側にあり、当該道路と並行する軌道を対向してきた路面電車と衝突した。

この事故により、当該タクシーの乗客と路面電車の乗客1名の計2名が軽傷を負った。

事故当時、当該タクシーの運転者は、当該交差点を通過しようとしたところ、当該乗客から当該交差点を左折するよう指示されたため、直進専用車線から左折した模様。

なお、当該交差点には自動車、路面電車の共用の信号が設置されており、事故当時、当該タクシー側の左折専用信号は赤だった模様。

(5) トラック4台が絡む多重衝突事故

3月28日(水)午前3時頃、大阪府の高速道路(片側三車線)において、滋賀県に営業所を置くトラックが追い越し車線を走行中、前方に停車していたトラック①に追突し、このはずみで当該トラック①の前に停車していたトラック②に追突、トラック①の左側に停車していたトラック③に衝突する、計4台のトラックが絡む多重衝突となった。

この事故により、接触事故のトラブルでトラックから降りて話をしていた運転者3名のうち、当該トラック①と③の運転者が死亡し、当該トラックの運転者と当該トラック②の運転者が軽傷を負った。

事故当時、停車していた3台のトラックのうち、当該トラック②と当該トラック③は同一事業者の運転者で、この事故の前、当該トラック①が当該トラック②と別の場所で接触事故を起こしたが、警察に事故の報告することなくそのまま逃走したため、当該トラック③の運転者が当該トラック②の運転者と連絡をとり、当該トラック①の前方と左側を塞ぐようにするなどして停車させた模様。

なお、この事故の影響により、当該高速道路の一部区間で約4時間に渡り通行止めとなった。



【2. トラック追突事故防止マニュアルを公表しました！】

今般、国土交通省自動車局に設置した「自動車運送事業に係る交通事故要因分析検討会」（座長：堀野定雄 神奈川大学工学研究所客員教授）において、平成23年度の報告書を取りまとめましたのでお知らせします。

平成23年度検討会においては、事業用トラック事故件数のうち、約半数が追突事故により占められている状況を鑑み、トラック追突事故の課題と対策について集中的に分析しました。

この分析では、わき見運転や反応の遅れなど運転者面の直接の要因だけでなく、その背景に潜む運行管理面の要因にさかのぼり、追突事故防止に効果的と思われる対策を選定しました。

これにより、経営トップ、現場管理者、運転者それぞれの役割に応じ、トラック追突事故防止のための「指針」及び「マニュアル」を作成しました。

本報告書については、運送事業者における事故防止の取組に活用していただけるよう周知していくこととしています。

○報告書

- ・ [第1分冊] 事業用自動車の交通事故の傾向分析
- ・ [第2分冊] トラックの追突事故を防止するための課題整理と対策検討
 - 別冊1：経営トップ向け指針
 - 別冊2：現場管理者向けマニュアル
 - 別冊3：ドライバー向けマニュアル など
- ・ [第3分冊] 社会的影響の大きい重大事故の要因分析

※報告書本体については、以下のリンク先をご覧ください。

(<http://www.mlit.go.jp/jidosha/anzen/03analysis/examination.html>)



【3. 安全指導業務（適性診断・運行の管理に関する講習）の民間参入に

自分の自動車が保安基準に適合するよう点検・整備する義務がありますので、忘れずに修理を受けましょう。

